

◎ 国語部門

1 行事及び内容

(1)研究委員会

①第一回研究委員会：6月5日（火）

- ・事業計画 ・文集「あまくさ」第五十二集の編集方針と募集要項の検討
- ・研修会の検討

②第二回研究委員会：7月23日（月）

- ・研修会の打ち合わせ

③国語部門研修会：8月6日（月）

- ・講師：佐賀大学文化教育学部 達富洋二教授

④第一回文集「あまくさ」編集委員会：12月26日（水）

- ・編集までの日程と審査基準の確認および審査 ※学校図書館教育部門と合同

⑤第二回文集「あまくさ」編集委員会：1月7日（月）

- ・審査反省および入賞者名簿の作成

⑥第三回文集「あまくさ」編集委員会：1月21日（月）

- ・第五十二集の校正と編集の反省

⑦第三回研究委員会：2月14日（木）

- ・国語部門年間反省 ・次年度へ向けて

～その他の活動～

※小学校県文集「ゆめ」審査会：10月30日（火）

(2)本年度の研修会について

研究テーマを「生きて働く言葉の担い手が育つ国語科授業の創造」と設定し、8月6日（月）に天草教育会館大会議室にて以下の内容で研修会を実施した。（参加者：小学校 51名 中学校 28名）

講話 「子ども達が学び浸る国語教室づくり パート2

～次期学習指導要領のねらいから求められる国語科授業まで～

講師：佐賀大学文化教育学部 達富洋二 教授

ワークショップ

「子ども達が学び浸る国語教室づくり 実践編

～先生方のお悩み・疑問にズバリお答えいただきます～

ご指導：佐賀大学文化教育学部 達富洋二 教授

2 成果と課題

本年度は、研修会を開催した。昨年度の研究発表会に引き続き、佐賀大学文化教育学部：達富洋二教授に講師として来ていただいたことで、「連続した学び」ができ、より充実したものとなった。研修会には約80名の先生方に参加していただいたが、授業づくり、言語活動について大変参考になったといったご意見をたくさんいただいた。事前に授業での悩み等のアンケートをとっておいたことも良かった。

文集「あまくさ」第52集は学校図書館部門との合同審査を経て無事発行することができた。例年、審査は、国語部門所属の多くの先生方に協力していただいているが、昨年度の小学校部会にとっては審査時間が十分ではなかったという反省を踏まえ、今年度、小学校の部会は、10時から審査を開始した。